

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 創造的対話力研究会

テーマ 児童生徒、保護者、同僚と創造的な関係性を築くための「対話」「コミュニケーション」の在り方を学び、個別演習と実践を通してスキルを磨く。

取組のポイント・成果

第1回研究会 日時：8月3日（火）19時～21時（オンラインミーティング）

- 1.自己紹介
- 2.要望、悩み、相談の共有（グループワーク）
- 3.全体での共有
- 4.講師からのアドバイス
- 5.感想の共有

初回のミーティングでは、参加者の自己紹介から始まり、各先生の悩みや相談を全員で共有した。講師の真崎氏からは、国際的かつ長年の指導経験から解決のためのアドバイスを頂き、綿貫氏からは、専門である心理学や思考法の観点から、適切な解決策を提示いただいた。この研修会のテーマは「対話」「コミュニケーション」の在り方を学ぶことであり、問題解決に向けて講師だけでなく、参加者全員がメンターとなれるよう、「共に教える、共に育つ」という姿勢で今後の研修を進めていくことを確認した。

第2回研究会 日時：8月29日（日）19時～21時（オンラインミーティング）

- 1.自己紹介、近況報告
- 2.ペア交流（夏休み明けの悩み、課題）
- 3.コミュニケーションを学ぶ
 - ①セルフ連想ゲーム（真崎氏）
 - ②ウミガメのスープ（綿貫氏）
- 4.悩み相談、解決
- 5.感想の共有

今回は講師による講話と演習を中心に行った。以下は参加者の感想である。「水平思考ゲームで、思い込みを外すために、前提を確認または共有していくことが子供とのコミュニケーションで大切にもなると感じました。できる限り、自分や子供の意思を確認して指導していきたいと思います。」。演習によって、身をもってコミュニケーションについて学ぶことができた。

第3回研究会 日時：9月19日（日）20時～22時（オンラインミーティング）

- 1.自己紹介、近況報告
- 2.ペア交流
- 3.悩み相談、解決
- 4.感想の共有

コミュニケーション力を高める場として、第3回研修はオンラインミーティングの進行も講師主導ではなく参加者が行った。参加者の中から、代表者4名が進行やアドバイス、フォローなどの役割を担った。悩みの種類によって誰に話を振ればよいか、また、会話が行き詰ったときにどのよう

にフォローするかを考え、お互いにサポートすることで、コミュニケーション力の向上につながった。

第4回研究会 日時：10月17日（日）20時～22時（オンラインミーティング）

- 1.自己紹介、近況報告
- 2.ペア交流
- 3.悩み相談、解決
- 4.感想の共有

今回の感想では、「目的と手段の関係を自身が理解し、他者が理解できるようにサポートすることがコミュニケーションの本質だなと感じた。」とあった。各先生方の悩みを解決するために、講師の専門性のある適切なアドバイスが、解決のための重要なヒントとなっている。

第5回研究会 日時：11月21日（日）20時～22時（オンラインミーティング）

- 1.自己紹介、近況報告
- 2.ペア交流
- 3.悩み相談、解決
- 4.感想の共有

今回が最後のミーティングであったが、まさに「共に教える、共に育つ」という姿勢で学び続けることができた。校種や職種が違うメンバーが集まることで、様々な視点から意見を聞くことができ、教員の経験年数に関わらず活発な意見交流がなされる姿が見られ、5回に渡った研修会の成果が表れた。

研究会参加者

No.	所属	職名	経験年数（※） （本年度末時点）
1	県岐阜商業高校	教諭	7
2	羽島北高校	教諭	18
3	岐阜各務野高校	教諭	11
4	加納高校	教諭	9
5	中津高校	教諭	2
6	各務原中央中学校	教諭	1
7	各務原中央中学校	教諭	1
8	白川小学校	教諭	1
9	恵那北小学校	教諭	1



第2回ミーティングの様子



第3回ミーティングの様子

今後の課題

今回の研究会では、「対話」や「コミュニケーション」の在り方について、講義や演習を通して学んだ。回を重ねるに連れ、参加者同士の間関係の構築や、コミュニケーションへの学びが深まっていき、経験年数に関わらず、参加者同士の活発な意見交流が見られるようになった。多様な人間が集まったからこそ、様々な視点から意見がなされ、問題解決につながった。

学校現場では、組織で対応することが求められているが、各先生方の多忙さから相談できず、問題を一人で抱え込んでしまうことも少なくない。今回の研究会は、校種や職種にとらわれないメンバーが集まり、自分の思いを話せる「場」があったからこそ解決できた課題が多くあった。このような「場」が今後生まれてくると、先生方に活力や新しい学びが生まれ、生徒へ還元されていく好循環が生まれるのではないかと思う。